

持ち込み方式の代行業者

持ち込み車の
イメージ



持ち込みとは？

ドライバーの個人車両を
代行業務に使用

車に、統一されたデザイン性は無く、
屋上灯と、認定番号だけが貼られている

全車、社有車方式のゼロ代行



ゼロは、保険のかけ忘れがない、
安心の、全車社有車です

実態としては、社有車と持ち込み車を併用する **混在型が大半**

代行業には、専用の車両が必要で、
車両の購入・維持管理には多額の費用がかかります。
理想的には、自社車両を用いる「社有車」の形態ですが、
資金が無い業者は、やむなく「持ち込み方式」をとっている。

**「持ち込み方式」には様々な問題があり、
業界で、無保険の温床とされています。**

無保険の可能性

業務に使用する車両に入れ替えがあった場合、使用する前に、保険会社への事前登録が必要です。
当然のことながら、登録漏れには、代行保険での対応ができず、大変なことになります。(保険約款に
明記)

煩雑さからくる無保険

「持ち込み車」は日々入れ替わり、その煩雑さからミスが起こり、
保険を掛け忘れたまま代行

ミスによる無保険

しばらく出勤のない「持ち込みドライバー」の、保険料を抑えようと解約。
その後、持ち込みドライバーが出勤し、保険を掛け忘れたまま代行

モラルの低さによる無保険

ドライバーが、修理等で自分の車（持ち込み車）を使えない時も、
持ち込み代として上乘せされる報酬を稼ぐため、
会社に黙って、保険を掛けていない、別の車で代行

自宅待機中に、ビール1杯 飲酒による無保険

屋の仕事が終わった後、ビール1杯くらいと、飲んで自宅待機。
持ち込み車は、自宅から直接、お店に迎えに行くことが多く、酒気帯びで代行

航空会社ですら飲酒チェックしなかったように、ほとんどの業者は飲酒チェックをしていないのが実態

代行業者 逮捕

認定業者と同じように
認定番号を貼って、

認定を装い

無保険で 代行

信頼性を根底から揺るがす、
大変な事件！

平成 30 年 4 月

数台で営業していた認定業者が、
わざわざ認定を返納し、
その後、無認定・無保険で営業。



認定を返納することで、
公安委員会の立ち入りがなくなり、
「その結果、保険料を払わなくて済む」
そういった理由以外、考えられません。

**判別は
不可能**



資本金 1 億円 車両 30 台

全車 社有車の ZERO 代行は安心です！